



名大トピックス


No.108 平成14年5月31日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

理学部が創立60周年記念式典を挙行



名古屋帝国大学開学記念絵はがき 理学部

CONTENTS

平成14年度における教育研究施設の充実.....	2	農学国際教育協力研究センターが学術交流協定を締結.....	11
大幸地区に大学院修士課程が設置される.....	4	平成14年春の叙勲、褒章受章者決まる.....	11
セクシュアル・ハラスメント相談所を設置.....	5	工学研究科 毛利教授、生田教授が文部科学大臣賞を受賞...	12
理学部が創立60周年記念式典・記念講演会及び 記念祝賀会を挙行.....	6	本学で東海地区国立学校等初任職員研究を開催.....	13
理学部が同窓会創立総会・創設祝賀会を挙行.....	7	 ある総合の企て 佐藤彰一.....	14
名古屋大学全学説明会を開催.....	8	本学関係の新聞記事掲載一覧(14年4月分).....	16
難処理人工物研究センターがシンポジウムを開催.....	9		
博物館でコンサートと講演会が開催される.....	10		

ちよっと名大史

香菓園と愛知医科大学予科歌碑

戦前にあった愛知医科大学（1920～1933）は現医学部の前身ですが、この大学には4年間の学部本科とは別に、3年間の「予科」がありました。戦前は、語学や基礎教養（リベラルアーツ）を旧制高等学校・専門学校などで学んでから大学に行きましたが、この愛知医科大学予科もこれに相当します。

香菓園（かぐの このみの みその）は、愛知医科大学予科の同窓会「橘会」の設立五周年を記念して1982年に竣工、名古屋大学に寄贈されました。園の名称は歌碑の両側に植えられている橘が、非時香菓（ときじくのかぐのこのみ）と別称されていることに由来します。歌碑に記されている愛知医科大学予科の校歌「源清き」はつぎの通りです。

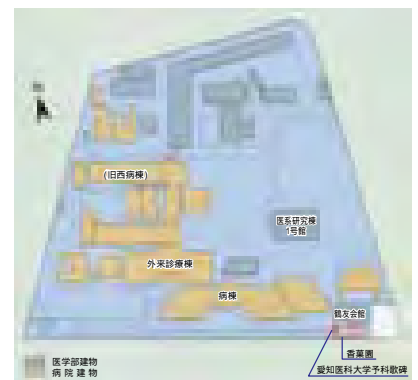
源清き堀川の
流れ栄ある五十年
久遠の理想仰ぎつつ
向上の意気凝るところ
紫白ふ東の
鶴舞が原の黎明に
至高の燦として
輝く星を君見ずや
西金城の朝風に
橘泉神如の影清く
韻律高く鳴り渡る
嗚呼健男児の胸の裡



碑と庭園 全景



庭園の石碑



鶴舞地区

今回から学内外にある、名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物を紹介していきます。これらに関する情報をお持ちでしたら、大学史資料室（052-789-2046）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.109 平成14年6月30日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

名古屋大学マネジメント情報を公開

名古屋大学マネジメント情報 [日本語 (English)]

更新情報

2004/06/29 「教育サービス社会貢献センター」開校
2004/06/24 ネットワーク管理委員会
2004/06/23 「環境」に関する情報

目次

経営情報

学生・教職員

研究情報

社会サービス

教育研究環境

その他

センター・センター (名古屋大学のセンター)

経営情報

研究情報

教育サービス (社会貢献センター)

情報共有 (内部のみ)

学生・教職員

その他

ネットワーク管理委員会

関連リンク

閲覧履歴

マネジメント情報の概要

名古屋大学 計画情報分析室
eva@eda.provost.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学マネジメント情報のホームページ (<http://eda.provost.nagoya-u.ac.jp/mi/>)

CONTENTS

名古屋大学マネジメント情報の公開.....	2	博物館が第15回講演会を開催.....	11
名誉教授称号授与式・懇談会を開催.....	4	ウズベキスタン・タシケント法科大学で留学説明会を開催...	12
新名誉教授のことは.....	5	新任部局長等の紹介.....	12
太陽地球環境研究所で一般公開・講演会を実施.....	8	平成14年度名古屋大学公開講座(東山地区)・ラジオ放送	
先端技術共同研究センターが基礎特許セミナーを開催.....	9	公開講座の日程が決まる.....	13
(財)武田科学振興財団研究奨励金の贈呈が行われる.....	10	本学関係の新聞記事掲載一覧(14年5月分).....	18

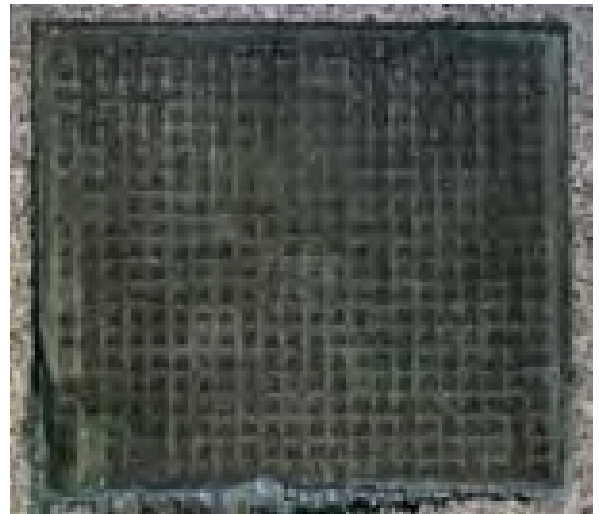
ちよっと名大史

渡邊龍聖名古屋高等商業学校 初代校長の胸像

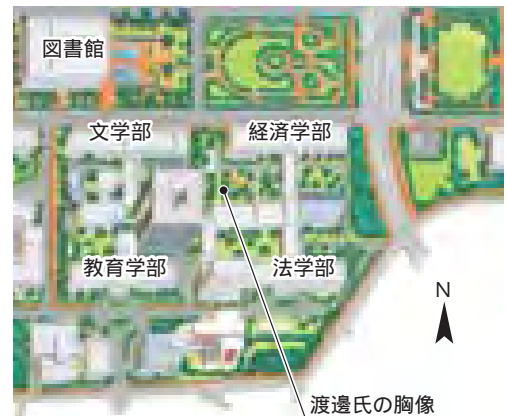
名古屋高等商業学校（名高商）は現経済学部の前身校で、1920年に設置されました。初代校長渡邊龍聖氏は帝国大学文学部を卒業、東京音楽学校校長・小樽高等商業学校校長を歴任後、1921年11月名高商校長に着任、1935年までの15年間の長きに渡って校長を務めました。全国で六番目の高等商業学校が名古屋に創られたのは、氏の助言によるとも言い伝えられています。専門は倫理学で、著書に『乾甫式辞集』などがあります。

「学生は学生らしくあること」「学生は学生の本分をわするゝな」という二大信条、「学校は家庭の延長なり」「学校は生徒の健康保護所なり」という二大要望を氏は掲げ、名高商教育の柱としました。専攻が倫理学でもあるため、氏の教育観はこのように人格主義ではありましたが、一方で実践・実用を重んじたカリキュラム編成も行っていました。名高商の校風は氏によって創られたといっても過言ではなく、辞任後も名高商にその影響は強く残ったようです。

胸像は1938年に完成、同年5月15日に除幕式が行われていますが、戦時中に軍事供出されてしまいました。その後名高商創立60周年を記念して1980年10月に、同窓会「キタン会」によって新しい胸像が再び建てられました。ただ裏面の銘板は戦前当時のものです。



銘板



渡邊氏の胸像

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052・789・2046）へご連絡下さい。

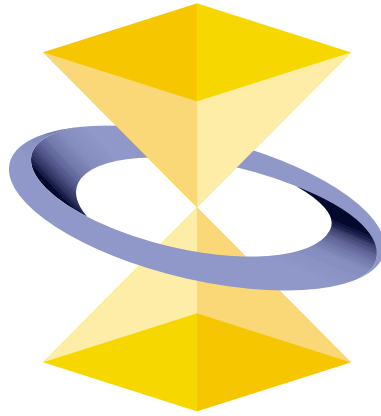
東山地区



名大トピックス

No.110 平成14年8月19日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

特集 名古屋大学国際フォーラムを開催



Academic Consortium 21




公開討論会



総会

CONTENTS

[特集] 名古屋大学国際フォーラム	理学部・理学研究科が第3回懇話会を開催.....	19
名古屋大学国際フォーラム	博物館が第3回ネイチャーウォッチングを実施.....	20
「新世紀を築く大学の英知」を開催.....	博物館で公開展示会・特別講演会が開催される.....	21
総長あいさつ.....	多元数理科学研究科がシンポジウムを開催.....	22
コミュニケ.....	工学部の化学・生物工学科分子化学工学コースが JABEE	
サテライトフォーラム等の開催.....	による技術者教育プログラムに認定.....	23
社会連携推進のための「名古屋大学総合案内」を開設.....	農学国際教育協力研究センターが	
情報連携基盤センターの銘板上掲式等が行われる.....	2002年度第1回オープンセミナーを開催.....	24
高効率エネルギー変換研究センターの銘板上掲式が行われる...	愛知県地区新任係長研修を開催.....	25
	松尾総長に日本学士院賞受賞を報告.....	26
	総長等表敬訪問一覧(平成14年4月～6月).....	26
	ヤングリーダーズプログラムの調査活動の報告について.....	27
	本学関係の新聞記事掲載一覧(14年6月分).....	30
 21世紀の脳神経外科医治療の課題 吉田 純...		16
「IB 電子情報館」が文教施設部長賞を受賞.....		18

ちよっと名大史

第八高等学校の正門

この連載第1回(108号)でご紹介しましたように、戦前は旧制高等学校で語学や基礎教養(リベラルアーツ)を学んでから大学に進みましたが、第八高等学校(八高)は、文字通り全国で八番目の旧制高等学校として1908年に創設されました。そのため、名古屋帝国大学(名帝大)が出来た1939年当初は、名帝大とは全く別の高等教育機関でしたが、1949年新制大学発足の際に名古屋大学に包摂され、名古屋大学分校(旧教養部)となりました。なお、番号を校名に冠する旧制高等学校(ナンバーズクール)はこの八高が最後です(八高以降1919年から新たに設置された旧制高等学校は、松本高等学校などのように地域名を冠しています)。

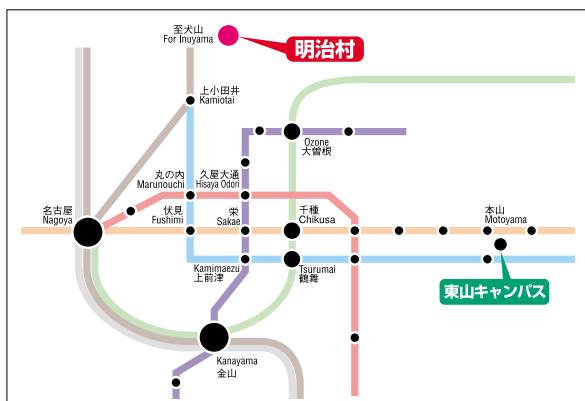
創立当初は愛知県立第一中学校校舎跡地(中区丸の内三丁目2番、現東海郵政局付近)を一時利用していましたが、翌1909年に現在の名古屋市立大学経済学部・人文社会学部キャンパス(瑞穂区瑞穂町山の畑1)の地に移転しました。写真の正門もその時に建てられたもので、左右に脇門をもつ門柱・赤煉瓦と花崗岩との紅白の横縞模様の角柱と袖塀・鉄製門扉・門柱上の電飾燈などは、明治後期の様式の特徴を伝えています。1970年に博物館明治村(愛知県犬山市内山1)に移設され、明治村正門として現存しています。



明治村正門



滝子商店街街燈
八高正門門柱を模す滝子商店街振興組合(所在:滝子市バス停付近)



明治村



滝子商店街街燈

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、大学史資料室(052-789-2046)へご連絡下さい。



名大トピックス

No.111 平成14年9月13日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

名古屋大学説明会を開催



松尾総長によるあいさつ



農学部




教育学部



文学部

CONTENTS

名古屋大学説明会の参加者、これまでの最多人数.....	2	医学部附属病院・	
医学部附属病院遺伝子・再生医療センターの創設記念式典が		関連病院卒後臨床研修ネットワーク総会を開催.....	10
開催される.....	3	工学概論第1「がんばれ先輩!」.....	11
言語文化部・国際言語文化研究科の公開講座が開催される.....	4	農学国際教育協力研究センターがオープンセミナーを開催...	12
総合保健体育科学センターが		国際教育交流担当職員長期研修プログラム(LEAP)に	
「親子で楽しむスポーツ教室」を開催.....	5	参加して～後半：カリフォルニア大学デービス校～.....	13
年代測定総合研究センターが体験学習を開催.....	6		
工学部懇話会を開催.....	7		
タウンユートリノ検出装置を先端科学技術体験センターへ寄贈...	8	 人体再生に挑む 上田 実.....	18
医学系研究科において男女共同参画推進講演会を開催.....	9	本学関係の新聞記事掲載一覧(14年7月分).....	20

「岡崎高等師範学校跡」記念碑

1949年に新制名古屋大学が発足した際、名大に包括された旧制学校の一つに岡崎高等師範学校があります。岡崎高師は、戦時体制下において科学技術者の動員を計画した国策に沿う形で、理科系の中等教員養成を目的として1945年4月に設置されました。

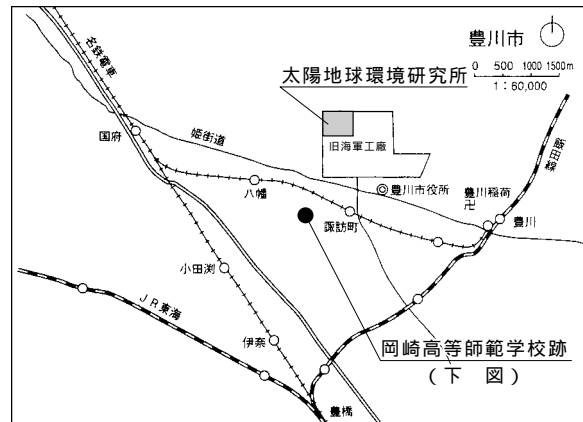
岡崎高師は、その名のとおり、岡崎市内（市立工業学校跡地。現在の愛知教育大学附属岡崎中学校地）に創立されましたが、第1回入学式直前の7月19日深夜の岡崎市空襲により、すべての校舎を焼失した状態で8月15日の終戦を迎えています。その後、同校は市内針崎町の勝鬘寺内に生徒宿舎（振風寮）を設け、三菱重工業針崎工場青年学校を仮校舎として本格的な教育活動を開始するとともに、本格的な移転先の検討を進めました。

その結果、岡崎高師は12月に豊川市内の旧海軍工廠工員養成所（現在の県立豊川工業高等学校地）に、また振風寮も同じ工員養成所の寄宿舎（現在の豊川市文化会館、市立代田小学校地）に移転しました。写真の記念碑は、岡崎高師創立30周年を記念して同校の同窓会「黎明会」によって設置が計画され、豊川市文化会館前庭に1980年6月に建立されました。碑文は、岡崎高師初代校長を務めた水野敏雄の揮毫です。

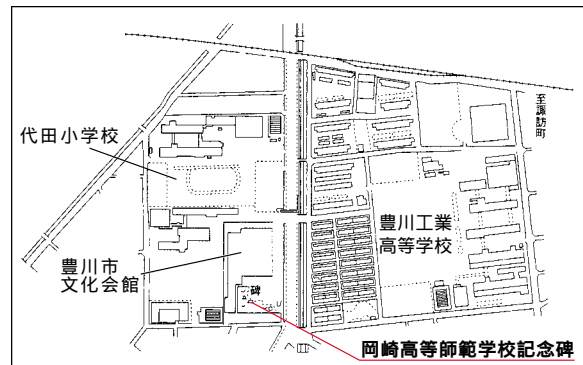
岡崎高師は、新制名大へ包括された際に「名古屋大学岡崎高等師範学校」となり、そこには名大豊川分校（旧教養部）が併置されました。1952年3月、岡崎高師は第4回卒業式の後に関閉校式も挙行され、わずか7年間の校史に幕を閉じました。なお、岡崎高師の閉校にともなって名大豊川分校は名古屋市内の名大瑞穂分校に統合され、名古屋大学分校（旧教養部）となりました。



岡崎高師正門(『岡崎高等師範学校誌』1950年より)



記念碑



名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.112 平成14年10月15日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

第 期名古屋大学運営諮問会議第 1 回会合を開催



CONTENTS

第 期名古屋大学運営諮問会議第 1 回会合を開催.....	2	国家公務員 種試験第一次合格者への	
教育学部がサマー・スクールを開催.....	3	職務内容等説明会を開催.....	7
理学研究科で岡崎高校スーパーサイエンスハイスクール		技術職員研修(全体研修)「装置開発」・「電子・情報」	
特別課外活動を実施.....	4	・「生物」を開催.....	8
第 3 回テクノフロンティアセミナー開催.....	5	テクノ・フェア名大 '2002' 「工学を拓く	
工学部で「テクノサイエンスセミナー」を開催.....	6	新たな産学官連携の芽を創出」開催のお知らせ.....	9
第13回日本数学コンクールを開催.....	7	本学関係の新聞記事掲載一覧(14年 8 月分).....	10

名古屋大学の源流は、医学部の前身となっている1871年8月開設の名古屋県仮医学校・仮病院にまで遡ります。仮医学校は、名古屋城の南外堀のほぼ中央に架かる本町橋の南東にあった旧名古屋藩の評定所跡地に、仮病院もその西側、本町通りを挟んで向かい側にあった、同じく旧名古屋藩の名古屋町奉行所跡地に設けられました。

開国前後にコレラなど、諸外国からもたらされたと思われる伝染病が頻繁に発生し、その対策医療が明治新政府の重要な政策課題のひとつとなっていました。名古屋城＝名古屋県庁の南すぐ近く、旧評定所・旧町奉行所という旧藩政の重要な行政機関の跡地に、仮医学校・仮病院が設置されたことは、いかに明治新政府＝名古屋県が医療政策を重要視していたかということの思いうかがわせませす。

仮病院は半年後の翌年2月にいったん廃止され、仮医学校の方も同年8月の学制変革により廃校に及んだとされています。しかしこれは名古屋県の行政改革上の一時措置であつたらしく、同年8月には仮医学校職員らの有志により「義病院」の名称で同じ場所で再開されました。ただこの義病院は財政難から、翌1873年2月にはまたもや閉院になったとされています。

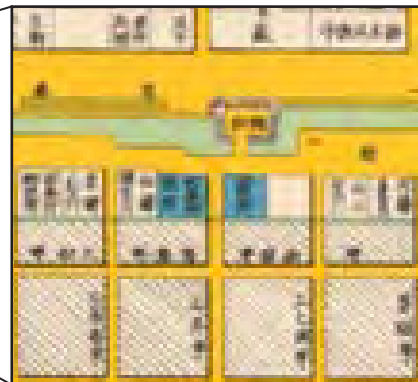
現在は、仮医学校跡地が愛知県産業貿易館本館（名古屋市中区丸の内三丁目）に、仮病院跡地が同会館西館（同丸の内二丁目）になっています。



愛知県産業貿易館



所在地



当時の街並

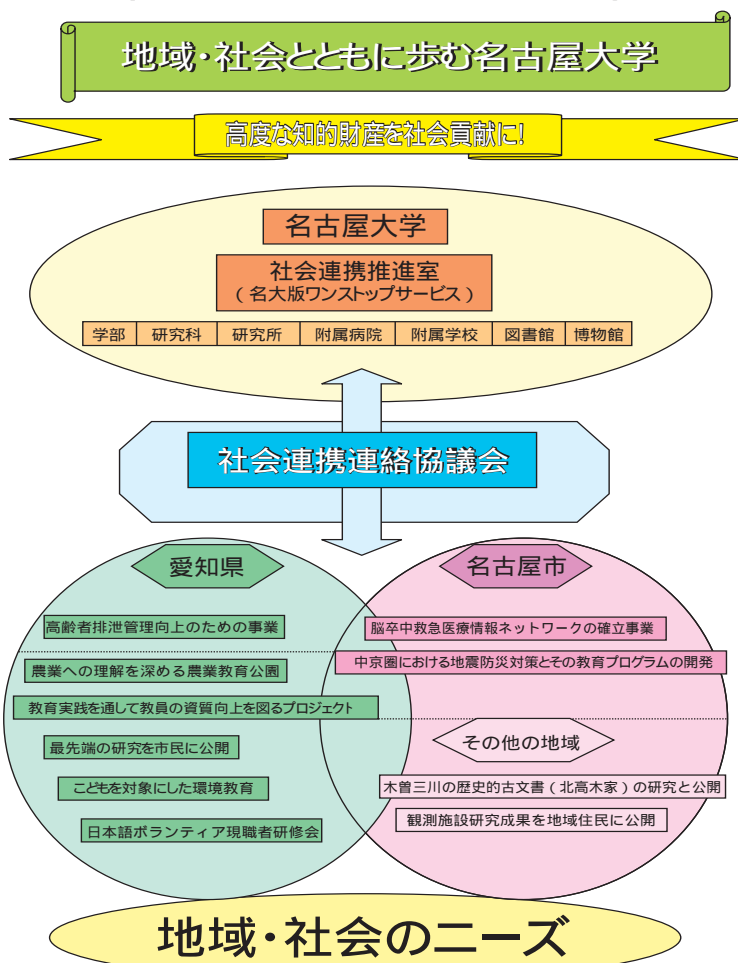
名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.113 平成14年11月8日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 TeK(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

名古屋大学の社会連携のとりくみ (地域貢献特別支援事業)



CONTENTS

地域貢献特別支援事業に着手.....	2	佐々木副総長がモンゴル国立大学最高栄誉賞を受賞.....	9
大学院留学生特別コース学位授与式を挙行.....	3	伊藤 文学研究科助手が	
第1回男女共同参画シンポジウムを開催.....	4	エル・サルバドル共和国から表彰される.....	10
名大病院リスクマネジメント・シンポジウムを開催.....	5	農学国際教育協力研究センターが	
医学部附属病院で法人化説明会を実施.....	6	第6回オープンセミナーを開催.....	10
太陽地球環境研究所が		総長等表敬訪問一覧(平成14年7~9月).....	11
第2回日韓中宇宙天気国際会議を開催.....	6	第11回人事交流懇談会を開催.....	11
年代測定総合研究センターの主催で		インターンシップを試行的に実施.....	12
第9回加速器質量分析国際会議が開催される.....	7	退職者へ永年勤続表彰が行われる.....	13
「アジア法整備支援」研究プロジェクトチームが		平成14年度職員体育大会を開催.....	13
ウズベキスタンでシンポジウムを開催.....	8	第10回名古屋大学科学研究オープンシンポジウム.....	14
医学系研究科がモンゴル保健大臣と会見.....	8	本学関係の新聞記事掲載一覧(14年9月分).....	15

ちよっと 名大史

仮病院(愛知県病院)・医学講習場跡

前号(連載第5回)で紹介した「義病院」の閉院3ヵ月後の1873年5月、愛知県は西本願寺掛所(別院)に仮病院(1875年1月以降、愛知県病院)を復興しました。義病院が財政難から閉院に至った教訓を活かし、今回の病院復興に際しては財源面・人事面ともに全面的な民間依存策が採られました。その結果、本願寺派(西本願寺)・大谷派(東本願寺)・高田派のいわゆる真宗三派では信徒からの喜捨を募って、5万円もの巨額を拠出しています。

仮病院には、ドイツ系アメリカ人医師ヨングハンスが雇われていました。彼は、本学の歴史上最初の外国人教師です。当時、愛知県下では医師の約8割が漢方医であった状況において、彼は県下の医師に対して、自らの診療公開や死体解剖の実演等を行って西洋医学の啓蒙・普及に貢献しました。また彼は、1874年に日本初といわれる皮膚移植手術も行っています。

病院復興の翌1874年11月には病院内に医学講習場も設けられました。そこではヨングハンスが英語による医学教育を行っています。彼の生理学の講義録(口語訳)『原生要論』(1876年刊)は、本学附属図書館医学部分館に残されています。

このように仮病院(愛知県病院)・医学講習場は、本学医学部前身の一つとして、当時の西洋医学受容の尖端的拠点ともいえる場所でした。現在の西本願寺別院境内(名古屋市中区門前町1)にあたります。



西本願寺別院



西本願寺掛所(『愛知県写真帳』1910年より)

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、大学史資料室(052-789-2046)へご連絡下さい。



名大トピックス

No.114 平成14年11月29日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市中種区不老町 Tel(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

名古屋大学全学同窓会（NUAL）を設立




総会・記念講演会



同窓会役員

CONTENTS

名古屋大学全学同窓会（NUAL）を設立.....	2	法学研究科がウズベキスタンにおいて学生海外研修を実施...	12
法学部同窓会を開催.....	3	愛知地区国立学校等退職準備セミナーを開催.....	13
工学部が創立60周年記念講演会及び祝賀会を挙行.....	4	日本新聞協会と「新聞大学」を共催.....	14
国際唶鳴館の銘板上掲式が行われる.....	5	医学部、献体者の冥福を祈り解剖弔慰祭を挙行.....	14
公開講座（東山地区）・ラジオ放送公開講座終わる.....	6	平成14年秋の叙勲、褒賞受章者決まる.....	15
理学部・理学研究科外部評価報告書を刊行.....	7	職員創作美術展開催.....	15
医学系研究科が職場のメンタルヘルス講演会を開催.....	7		
医学系研究科が看護学専攻、医療技術学専攻 及びリハビリテーション療法学専攻の設置記念式典を挙行...	8	 都市の地震防災力向上のためのコト・モノ・ヒト作りの研究 福和伸夫.....	16
医学部医学科公開講座を開催.....	9	新任部局長等の紹介.....	18
環境医学研究所が国際シンポジウム及び外部懇話会を開催...	10	本学関係の新聞記事掲載一覧（14年10月分）.....	19
附属図書館が企画展示を開催.....	11		
農学国際教育協力研究センターが オープンセミナー（第7回・第8回）を開催.....	12		

ちよっと名大史

愛知県立医学専門学校跡

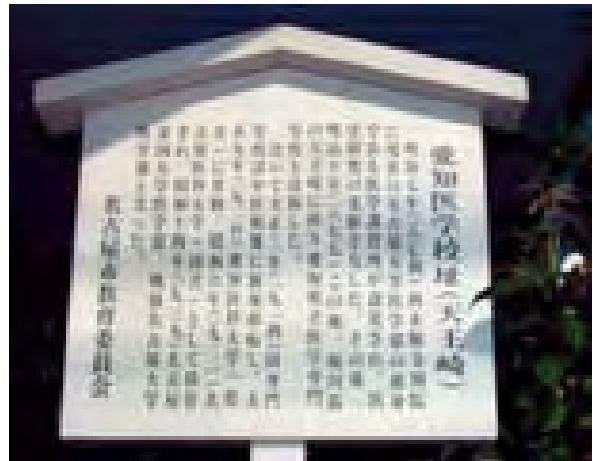
前号（連載第6回）でも紹介しましたように「愛知県病院・医学講習場（公立医学所）」は1873年5月に西本願寺掛所（別院）で復興しましたが、約4年後の1877年7月に、当時の名古屋町域の西端を流れていた堀川の東岸、天王崎町にあった旧名古屋藩士千賀家の屋敷跡地（現中区栄一丁目）に移転しました。前の西本願寺も当時の名古屋の南端にあたっており、最初の名古屋城正門の真向かいにあった時と比べ、不便な位置に移されたことになりま。これは当時の病院に対する忌避意識、すなわち「伝染病がうつるのではないか」という一般人の恐怖感・忌避感に押されて、名古屋の町のはずれに建てられたと思われます。

しかし、この移転によってはじめて、新築の医療と医療教育専門の専門施設が建てられました（それまでは既存の建物を修築して利用していました）。約五千七百坪の敷地の正面に病院診療棟1棟、北に医学校舎としてコの字形の教場棟1棟と塾舎4棟、その南に翼状の病棟3棟が並ぶ、当時としては立派な疑似洋風建築でした。

移転後はじめの約7ヶ月間は、学校は休講措置をとっていましたが、翌1878年2月に学校の新規則が制定されたのをうけ、再び開校されました。そして同年4月公立医学校と改称、それまでは病院の付属施設でしたが、ここにおいて独立した機関となりました。さらに1879年にはそれまでの中等教育機関から高等教育機関である「専門学校」に格上げされ、1903年3月には愛知県立医学専門学校と改称されました。そして1914年3月に現名古屋大学医学部鶴舞キャンパスに移転するまでの約37年間、この地で医療教育と医療活動を続けました。



現在の景観



当時の写真



名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.115 平成14年12月27日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

テクノフェア名大'2002' - 産学官連携の一層の発展を目指して -



特別展示「からくり人形展」の実演



展示会場を訪れた企業関係者

CONTENTS

テクノ・フェア名大'2002'を開催.....	2	高等教育マネジメント分野オープンクラス開催.....	24
科学研究オープンシンポジウムを開催.....	3	セクシュアル・ハラスメント防止に関する活動を企画.....	25
文系総合館の竣工記念式典が挙行される.....	4	全学シンポジウム「大学の知と高校生の学力」が開催される.....	26
情報連携基盤センターの設立記念式典が行われる.....	5	高等教育研究センター自己評価報告書が刊行される.....	27
第一期名古屋大学運営諮問会議第2回会合を開催.....	6	医学部保健学科が国立大学理学療法士・	
第一期名古屋大学運営諮問会議第1回会合議事録.....	7	作業療法士教育施設協議会総会を開催.....	27
環境学研究科がアジア学術セミナーを開催.....	20	第13回日本数学コンクール表彰式を開催.....	28
平成15年度に開講する基礎セミナー担当者のための		事務系中堅職員研修を開催.....	28
FD研修が開催される.....	21	永年勤続者表彰式を開催.....	29
博物館が特別講演会(第19回・第20回)を開催.....	22	本学関係の新聞記事掲載一覧(14年11月分).....	30
インターンシップ推進全国フォーラムを開催.....	23		

ちよっと名大史

豊田講堂

本学東山キャンパスのシンボルの一つである豊田講堂（設計者：槇文彦。1962年度日本建築学会賞受賞）は、1960年にトヨタ自動車工業株式会社（当時）から建設寄付を受けた建物です。建物名称については、「発明家豊田佐吉翁を記念する意味で豊田講堂」としたことが記録に残されています。

本学では、名古屋帝国大学創設当時から、講堂と図書館は地元からの建設寄付を仰ぐという方針がありました。しかし、戦時下に創設された十分な施設設備を整える間もなく終戦を迎え、さらに戦後新制大学として再出発した直後も各部局が東山・鶴舞・名城地区など10余の地区に分散したいわゆる「たこ足大学」状態にあった本学では、講堂・図書館の設備は手付かずのままになっていました。東山キャンパスに豊田講堂ができる以前は、鶴舞キャンパス医学部構内にあった附属図書館内の講堂が本学唯一の講堂でした。

しかし本学では、1950年代はじめ頃から全学的な設備計画を策定し、医学部と附属病院を除くほとんどの部局を東山地区に集結させることが決められました。この東山地区移転は、1960年代中頃までにかけて、工学部、経済学部、法学部、文学部、教育学部、本部、教養部、農学部の順で行われました。豊田講堂の完成は、法学部の移転までが完了した時期にあたります。



豊田講堂完成直後の東山キャンパス（1960年）

- | | |
|------------|--------------|
| ①工学部 | ⑦宇宙線望遠鏡研究室 |
| ②理学部 | ⑧図書館予定地 |
| ③原子力研究室予定地 | ⑨経済学部 |
| ④豊田講堂 | ⑩法学部 |
| ⑤本部予定地 | ⑪文学部、教育学部予定地 |
| ⑥クラブハウス予定地 | |



現在の東山キャンパス（2001年）

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.116 平成15年1月31日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

国際教育協力懇談会・シンポジウムを開催



アフガニスタンの生徒ら



パネルディスカッション

CONTENTS

国際教育協力懇談会・シンポジウム（名古屋）を開催..... 2	農学国際教育協力研究センターが 第9回オープンセミナーを開催..... 9
高効率エネルギー変換研究センターが 創設記念講演会・祝賀会を開催..... 4	愛知地区国立学校等生涯生活設計セミナーを開催..... 10
国際フォーラム「アジアの高等教育改革の戦略と展望」を開催... 4	総長等表敬訪問一覧（14年10～12月）..... 11
地球水循環研究センターが公開講演会（第2回）を開催..... 5	第25回名古屋大学 OB・職員懇談会を開催..... 11
特許セミナー IN 名古屋大学を開催..... 6	新任部局長等の紹介..... 12
年代測定総合研究センターで体験学習を開催..... 7	発展途上国（マレーシア・ミャンマー・モンゴル）の 保健医療実状に関する調査..... 14
「農業ふれあい教室」を附属農場で開催..... 8	農学のフロントランナーを刊行..... 9
	本学関係の新聞記事掲載一覧（14年12月分）..... 16

ちよっと名大史

古川総合研究資料館 (旧古川図書館)

東山キャンパス豊田講堂の南西に位置する古川総合研究資料館は、1969年に完成した建物です。名称は故古川為三郎（日本ヘラルド映画株式会社の創立者）・志ま御夫妻から建設資金の寄付をいただいたことに因みます。

名古屋帝国大学創設当時、医学部のある鶴舞キャンパスに旧愛知医科大学時代に建てられた図書館がありました。ここに大学全体の図書館本館および医学部分室がおかれまして。当時からすでに、地元官民各界の建設敷金寄付によって東山新キャンパスに新図書館を建設する計画がありましたが、戦中戦後の混乱の中、その実現は困難をきわめていました。敗戦後の1948年、名城新キャンパスにあった旧歩兵第六連隊の兵舎建物に本館が移転しましたが、これもあくまでも暫定措置と考えられていました。

そして前号でもふれましたが、東山キャンパスの整備計画が進む中、前述の寄付が実現、古川図書館が建てられました。設計者は谷口吉郎 東京工業大学教授で、二階建てにみえる三階建てや、東西に長く広く設計された吹き抜けの空間配置などは、平行するグリーンベルトの傾斜や東西の広がりやを考慮に入れてデザインされているそうです。

1981年にグリーンベルトの西側に新中央図書館が完成した図書館が移転した後は、古川総合研究資料館となり、現在は名古屋大学博物館や年代測定総合研究センターなどが入っています。



完成当時の写真



博物館入口そばに残る銘板



鶴舞キャンパスの図書館（1935年）



(東山キャンパス)

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046）へご連絡下さい。



名大トピックス

No.117 平成15年2月28日発行 名古屋大学総務部企画広報室 編集 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Te(052)789-2016
ホームページ URL <http://www.nagoya-u.ac.jp>

平成14年度 高等研究院研究プロジェクト採択者が決定

プロジェクト採択者一覧

	氏名	所属部局	職名	研究プロジェクト名
1	有本 博一	大学院理学研究科	助教授	天然有機分子の集積化による機能発現
2	岡田 猛	大学院教育発達科学研究科	助教授	創造的認知プロセスの統合的解明
3	貝淵 弘三	大学院医学系研究科	教授	動脈硬化性疾患の病態解明と創薬
4	北島 健	生物分子応答研究センター	助教授	生命情報のハードウェアを解析・構築する糖鎖生命情報科学の創出
5	楠見 明弘	大学院理学研究科	教授	1分子ナノバイオロジーの開拓
6	佐藤 彰一	大学院文学研究科	教授	テキスト科学・史料学・マイクロヒストリー - ポスト・ローマ期国家構造研究の新天地 -
7	篠原 久典	大学院理学研究科	教授	新世代ナノカーボン物質の創製、評価と応用
8	関 一彦	物質科学国際研究センター	教授	有機デバイス関連界面の解明と制御
9	土井 正男	大学院工学研究科	教授	多階層的バイオレオシミュレータの研究開発
10	丹羽 公雄	大学院理学研究科	教授	素粒子標準理論の検証に関する日欧国際共同研究
11	福井 康雄	大学院理学研究科	教授	サブミリ波からテラヘルツ帯に至る宇宙と地球大気の開拓的観測研究
12	松本 邦弘	大学院理学研究科	教授	生命現象を制御する分子シグナルネットワークの解明
13	森永 正彦	大学院工学研究科	教授	複合機能構造形成プロセッシングの創成
14	八島 栄次	大学院工学研究科	教授	超構造らせん高分子
15	家森 信善	大学院経済学研究科	助教授	経済・金融再生のための金融システム改革の研究

(50音順)

CONTENTS

平成14年度高等研究院研究プロジェクト採択者が決定.....	2	理学研究科が第4回理学懇話会を開催.....	7
東海・東南海地震に備えて学内体制の整備を図る！.....	3	理学研究科が第1回坂田・早川記念レクチャーを開催.....	8
地域の小学生児童との小さな国際交流！.....	4	附属図書館で電子図書館講演会が開催される.....	9
アフガニスタン女性支援シンポジウムが開催される.....	6	本学関係の新聞記事掲載一覧(15年1月分).....	10
大学入試センター試験が実施される.....	7		

ちょっと名大史

シンポジオン (創立五十周年記念施設)

シンポジオンは、前回・前々回で取り上げた旧古川図書館や豊田講堂と同じく、本学の記念施設の一つです。同施設は、会議室（シンポジオンホール）、レストラン、ティーラウンジ、研究室等を備えた3階建て複合施設で、1992年に竣工・開館しました。

1984年以降、本学では、名古屋帝国大学創設から起算してちょうど50年にあたる1989年に向けて、創立五十周年記念事業が企画されました。同事業では、名古屋大学史の編纂・刊行や学术交流基金（仮称）の創設などと並んで、記念施設の建設が行われることになりました。当初、その記念施設については、国際会議場、同窓会館、総合体育・文化施設、合宿研修・保健施設の4施設のいずれかを建設することが計画されていましたが、最終的には「名大会館（仮称）」を建設することになりました。この「名大会館（仮称）」が、今日のシンポジオンです。

シンポジオンは、1987年に発足した学外組織である名古屋大学創立五十周年記念事業後援会（初代会長は竹田弘太郎名古屋商工会議所会頭）が建設し、名古屋大学に寄付したものです。当初、職員会館に隣接して建設される予定でしたが、その後、豊田講堂との一体的な運用もできるように現在の場所（豊田講堂の東隣）での建設に変更されました。

なお、建物名称については、ギリシア語の「シポジオン」が「饗宴」「饗宴の参加者」「饗宴が行われる部屋・場所」を意味することから、学術研究の成果発表等交流の場にふさわしいものとして「シンポジオン」という名称が採用されました。



中央手前（👉部分）がシンポジオン、その奥が豊田講堂



名古屋大学シンポジオン



(東山キャンパス)

名古屋大学の歴史に関する記念碑・記念物に関する情報をお持ちでしたら、
大学史資料室（052-789-2046）へご連絡下さい。